

一般物性

試験項目		#251	#400K (SS)	#401K (SS)	#401	#402	#403	#703	#912	#401L	#403L	単位	試験方法	
引張破断 強度	MD	44.0	28.4	39.0	40.2	50.0	55.6	52.5	70.1	45.8	72.0	N/50mm (#912のみ) (N/60mm)	JIS K 7127 準拠	
	TD	28.2	21.0	25.8	24.8	28.0	31.2	39.1	44.7	35.4	54.0			
引張伸度	MD	131	254	171	133	171	165	143	130	115	214	%		JIS K 7128-3
	TD	73	189	169	120	108	96	86	114	127	170			
引裂強度	MD	7.6	5.0	7.2	6.8	9.4	9.8	8.9	9.7	8.3	12.8	N	JIS K 7128-3	
	TD	6.2	4.0	5.8	4.6	7.1	7.6	8.1	8.1	9.4	9.9			
キャップ強度		35	74	99	93	111	126	990	3065	130	177	N/粒		自社法

【注】MD、TDはそれぞれ長さ方向、幅方向を示します。
〈試験場所〉 福井県工業技術センター 他

帯電防止物性（表面固有抵抗値(Ω)）

	#401EP(SEP) #401EB(SEB)	#402EP(SEP) #402EB(SEB)	試験方法
キャップ側(表)	1.0×10 ¹¹	1.3×10 ¹¹	JIS K 6911 準拠
ベース側(裏)	2.5×10 ¹¹	1.8×10 ¹⁰	

※上記数値は全て測定値であり、規格値ではありません。

燃焼時二酸化炭素排出量について（標準品・ナノエコロ品比較）

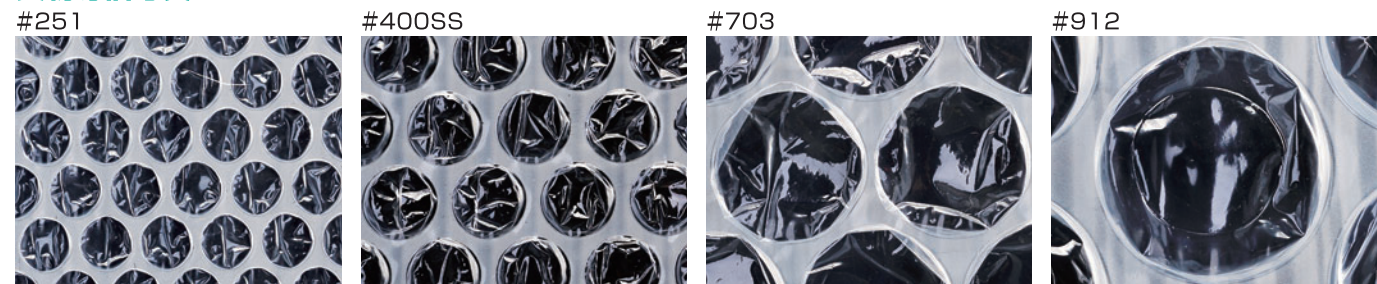
品 種	ミナパック				ラミパック HD15μにのみNV添加	
銘柄(構成)	400K(SS)	400KNV	401K(SS)	401KNV	401K(SS)+HD15μ	
	標準品	ナノエコロ品	標準品	ナノエコロ品	標準品	ナノエコロ品
CO ₂ 排出量(g/m ²)	138	55	164	65	208	181

※別紙、「ナノエコロ60」カタログに記載の測定結果を元に計算値で求めた数値であり、測定値・保証値ではありません。

二酸化炭素削減の仕組み

- ① 添加されている二酸化炭素吸着剤の穴に、燃焼時に発生した二酸化炭素が吸着されます。
- ② 燃焼時の高温で、吸着された二酸化炭素が吸着剤と反応し、固定されます。
- ③ 二酸化炭素吸着剤をナノ分散させることで、反応する面積が増加し、効果が劇的に向上します。

実物等倍写真



ラミパック

ミナパックに他素材をラミネートすることで全く違った分野への応用が可能になります。詳しくは弊社営業所まで、お問合せください。

※二次加工はカット、スリッター、製袋、打抜きなどの加工が可能です。

〈使用上の注意〉

この製品は直接火気にさらすと、木材・紙・繊維や、多くの合成樹脂製品同様に燃焼しますので、ご使用の際はご注意ください。

ミナパック®

ポリエチレン製気泡緩衝材

ミナパックはポリエチレンフィルムで成型された気泡緩衝材です。

家具や機械などの梱包用途から、果実、薬剤用のクッションなど、幅広い利用範囲が注目を集めています。

粒の大きさ・形状など、お客様の用途にあわせてお選びください。

